

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1人あたり6.78㎡あり、埼玉県指定の基準(2.47㎡)はクリアしております。	個室があるため、机上課題や面談等で有効に活用しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			1日あたり5人程配置しています。児童発達支援管理責任者の他に保育士が数名在籍しております。また、作業療法士を目指す学生もおります。	今後も有資格者の拡充を進めていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		玄関から部屋全体が見渡せ、洗面台やトイレも分かりやすい場所にあり、支援道具は必要な時だけ設置しています。	歩行が困難なお子様に対しては、必要な際は、玄関先までスタッフがサポートしています。室内は全面バリアフリー(段差無し)です。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日の清掃に加え、消毒・換気も徹底し、衛生面や感染防止に気を付けております。	消毒は、個別枠・集団枠の終了ごとに行うだけでなく、支援中にお子様に触れた箇所はこまめに消毒するようにしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			エリア会議(管理者・児発管が出席)を実施しております。	事業所内会議も適宜行なっております。また、今回のアンケート結果を職員間で共有し、改善につなげられるようにしていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果を会議にて職員間で共有しています。また、モニタリング面談の際に書面でも保護者のご意向を伺って、改善していくよう努めております。	今後もモニタリング面談の際の書面(ヒアリングシート)のご協力をお願いいたします。保護者様のご意向に添えるよう努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は行なっておりません。	機会は少ないですが、外部(児童発達支援センター)の方を受け入れを行うことがあります。外部評価を記述していただく機会はあります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			他施設の見学や、外部講師にカンファレンスを依頼しての研修などで、職員の質の向上に努めています。	今後も定期的に外部(児童発達支援センター)の方を受け入れて資質向上に努めます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			ケース会議を行い、職員全員で意見を出し合って作成しています。	計画には保護者のニーズが反映されるよう心がけております。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			厚労省のアセスメント項目に順じて、日常の健康と生活・認知・行動・コミュニケーション・学習・態度などの小項目が入ったアセスメントシートを使用しています。	ご利用にあたって、感覚プロフィールに回答いただいております(任意)。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内	○			児童発達支援管理責任者を中心に、ケース会議を行い、必要な支援を選択して支援内容を工夫するようにしています。	常勤の職員会議などで支援内容について話し合い、全職員に周知して支援を実施するようにしています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			日々、児童発達支援計画に沿ってお子さんにあった課題を提供できるよう心がけています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムの立案は様々な職種(心理士、保育士など)の職員が関わって行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			話し合いながら固定化しないよう努めています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			ご家庭の状況や支援時間枠の関係で、個別と集団の一方のみご利用の方もいらっしゃいます。	個別枠ご利用のメリット(主に、お子様の課題に特化した支援を受けられ、成功体験や褒められる経験を積めることにより自信に繋がります)と集団枠ご利用のメリット(主に、お友だちとの貸し借りや順番待ちなどの場面に、大人が仲介して手本を示すことで、適切な関わり方を身につけていく)を説明し、枠に空きがあれば両方ご利用いただくことをお勧めしています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援内容は必ず事前に打合わせ、職員間で改善点を出し合ってから、支援を実施しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			気づいた点は毎回の支援終了後や、一日の終礼の際に、必ず共有するようにしています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			行なっています。	
関係機関や	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			行なっています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要なお子様へは児童発達支援管理責任者や担当者が参画しています。	サービス担当者会議が行われる場合には、今後も障害児相談支援事業所とより密に連携をとっていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか			○	現在行っておりませんが、今後必要があれば行っています。	現在行っておりませんが、今後必要があれば行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	対象の児童がいませんが、その様な場合は整備します。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	対象の児童がいませんが、その様な場合は整備します。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要なお子様においては、保育所や幼稚園、相談支援専門員と情報共有を行なっています。	

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		必要な場合は、小学校や特別支援学校の先生に見ていただく引継ぎ資料等を作成し、保護者を通してお渡ししたいと思っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			行なっています。特に、出張療育カンファレンス制度を定期的に(年に数回)利用し、貴重な助言をいただき、その後の支援に活かしています。	他事業所も併用しているお子様については、必要があれば保護者の了承を得て、連携します。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	機会はありません。	今後、交流を検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	現在は参加していません。	必要に応じて参加していきたいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援後のフィードバック時や、連絡帳や面談等で日頃から情報共有をしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	行なっていません。	今後、研修等で職員が勉強し、保護者への支援を充実させていきたいと思っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			お伝えできる範囲内で行っていきます。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の支援のフィードバック時にお話ししたり、ご希望いただいた場合は面談の時間を設けて支援しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	行っていません。	今後開催するか、ご要望があれば検討します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付体制は、受付窓口を重要事項説明書にも記載しており、整備されています。	連絡帳・電話・面談等にて、相談や申入れを受けて、迅速な対応を心がけております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎週、ホームページのブログやLINE等で活動内容を発信したり、必要な情報は都度お知らせしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報保護法に基づいて、注意しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳を活用しています。必要な場合は電話・面談等にて配慮しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在行っておりません。	隣にあるスーパーマーケットにご理解を賜り、パンフレットを置かせていただいています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			策定してあるマニュアルを読み、緊急時や防犯の訓練を職員間で実施しています。	新型コロナウイルス感染症に対する対応は、保護者にも周知し、予防対策や陽性者発生時の対応も徹底しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		非常災害の発生に備えて、必要な対策は行なっています。職員は最寄りの避難場所まで歩く避難訓練を行っています。	来年度は、非常災害に対する訓練をより徹底して行ない、改善していく予定です。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			保護者への聞き取りを中心に、医療的な内容を契約時や随時情報共有しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		机上活動で使う教材はアレルギーの対応に気をつけています。	アレルギーに関しては、契約時や随時、確認しています。医師の指示書があれば、よく話し合って対応していく予定です。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が発生したら、専用のノートに記載し、終礼時や会議にて共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年、決められた虐待防止に関する研修を事業所内で行っています。	虐待防止委員会に出席した職員が全職員に周知する形で虐待防止研修を行ない、情報共有をしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		利用契約書に、身体拘束に関する記載をしています。	現在、身体拘束が必要なお子様はいないため、児童発達支援計画に記載していません。ただし、必要なお子様のご利用される際には、保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で記載します。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。